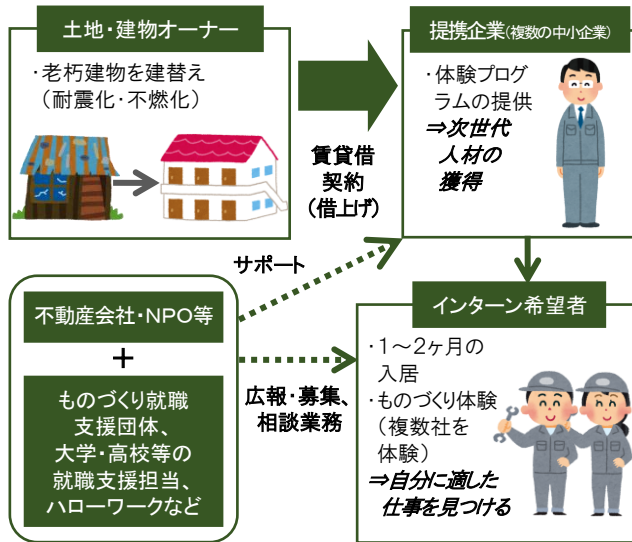


メニュー案 2 ものづくりチャレンジハウス

生野区内のものづくり企業と連携して、「ものづくりの仕事に関心はあるが、こういった仕事・会社なのか分からないままで就職することに不安を抱えている若者」に、1～2ヶ月程度のインターンでの体験就職を提供する賃貸住宅またはシェアハウスです。



? 生野区のものづくり企業ってどんなの？

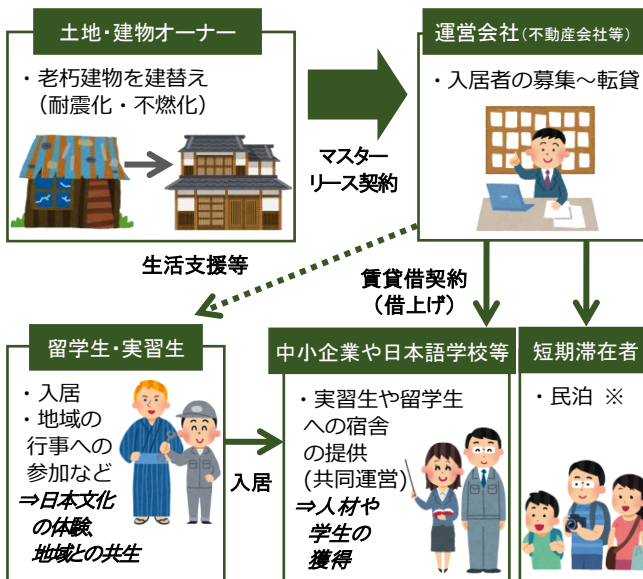
- 生野区は大阪市内でも最も製造業事業所が多いんです(約2,300事業所)
- 高い技術力を備えた国内外に誇るオンリーワン企業もたくさんあります
- 一方で、小規模な工場も多いので、後継者不足や事業の継承が課題です

～関係者の声(ものづくり企業)～

人材確保は喫緊の課題なんです。人材確保しやすい外国人実習制度を活用してますが、後継者を育てるためには日本人の若者も雇っていかないと考えてます。

メニュー案 3 インターナショナルハウス

区内で増加傾向にある多様な国籍の外国人をターゲットにし、短期の滞在者を受け入れる民泊としての活用も可能な外国人向け住宅です。



? 生野区って外国人がそんなに増えているの？

- 生野区の外国人住民数は市内で圧倒的に多くて、約2.8万人います
- 近年は韓国・朝鮮籍だけでなく、多様な国籍の方が住み始めています
- 大阪市内では、近年外国人旅行者が増加しており、宿泊施設は不足状況です

～関係者の声(外国人実習生を受け入れているものづくり企業)～

外国人実習制度をもっと活用したいけど、そのためには宿舎を用意しなきゃかんのです。外国人が地域に溶け込んで、地域が外国人を受け入れてくれるような仕組みがあればええなあと思ってます。

※将来的な活用を想定(事業者認定等が必要)

賃貸戸建編

生野区には狭い敷地に建っている住宅が多くあります。このような住宅は、長屋と比べて空間の制約が大きいため、効率的に賃貸住宅をつくることも困難です。

そこで、建設費用を抑えられるコンパクトな建物とし、生野区内に多く、全国的にも増加している一人暮らしの人が、ワンルームマンションよりも豊かに住める住宅とすることをご提案します。

生野で建替えるなら…

新しい建替えの考えかたをご提案！

- 収益が少なくても、建設資金を抑えられて、**リスクが少ないものにする**
- 住宅の建て詰まりを解消して、ゆとりある生活ができるように「**つくりすぎない**」
- 市場のニーズにとらわれず、**地域コミュニティの活動や、地域住民の生活を楽しく豊かにするために、地域のニーズに応えるものにする**
- 「**地域と関わって暮らしたいヒト**」が住まい、地域の活力や賑わいを生みだし、安全・安心な暮らしづくりにつなげる

建替えの例： 大きな可能性の小さな家

例えば…

